

# 課題解決に向けた行動計画

## 松原徳洲会病院

2022年度  
第1回地域緩和ケア連携調整員研修（ベーシックコース）

### 【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名（職種）
松原徳洲会病院 医局	平田 裕久（医師）
看護部	森 麻衣子（緩和ケア認定看護師）
薬剤部	坂上 俊（薬剤師）
がん相談支援センター	藤井 友紀子（MSW）

## ① 選定した地域の課題

- 病院で受けている専門的な医療（持続皮下注射等）を在宅で継続できない事がある
- 独居・高齢・身寄りがない患者が家に帰る支援体制が乏しい
- 先のこと、過ごし方を考える、話し合える機会が少ない

## ② どんな地域を目指すのか

患者自身が自分の将来を考えて、自分の望む場所で過ごすことができる地域

### ③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- 地域の特性を知る
- 勉強会、事例検討会、報告会（デスカンファレンスを含めて）の開催
- 在宅緩和ケアのパスを作成し、パスを利用して地域につなげるようにする
- 治療中から地域につないでいく

## ④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

- 勉強会（ACP勉強会等）、事例検討・報告会（デスクカンファレンスを含めて）の開催  
→2023年度中にできるように内容も含めて企画する
- 在宅緩和ケアのパスを作成し地域につなぐ→2023年度中
- 地域が持つ社会資源について詳しく情報収集する  
松原訪問看護マップの作成  
薬局マップの作成  
→2023年度中に職能団体の協力も得ながら作成する